

地域支援だより

平成27年5月22日

第52号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

情報のキャッチボールを！



秋田きらり支援学校は、平成22年4月に開校し、今年度6年目を迎えました。4月8日の入学式で、小学部6名、中学部5名、高等部12名、計23名が新たに仲間入りし、103名で元気よくスタートを切りました。本校の子どもたちが大切にしている合い言葉「きらり☆スマイル！」で、今年度も元気いっぱい頑張りますので、応援をよろしくお願いいたします。

さて、このきらりNetも、開校以来定期的に発行し続け、今回で52号を数えるまでになりました。この間、とても多くの皆様にご覧いただき、様々なご感想やご意見、ご要望等をいただきました。本当にありがたいことです。まさに、情報のキャッチボールをたくさんの方々とできていることを実感しております。

これからも、皆様方からの声に丁寧に耳を傾けながら、最新の情報をきめ細かくタイムリーに発信してまいります。また、今年度、二人目の教育専門監（肢体不自由教育）が配置されました。これまで以上に本校のもっている肢体不自由教育に関するノウハウの積極的な提供に努めますのでセンター的機能の活用も併せてよろしくお願いいたします。

校長 進藤 忠雄

～肢体不自由支援ガイドの御案内～

本校では、肢体不自由障害をもつ児童生徒への支援の手掛かりとして「肢体不自由支援ガイド」を編集し、本校ホームページから閲覧できるようになっています。内容は、いろいろな場面に合わせた児童生徒への支援方法や教材教具の工夫例、自立活動の指導例などとなっています。平成27年3月3日付けで最新版が更新されていますので、ぜひご覧ください。

「自分の思いを表現しよう～個に応じたコミュニケーション能力の育成～」

仲間との協力のもと、生活の中での体験や経験を言語によって表現する朝の会の工夫

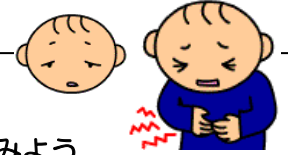
朝の会は日常生活の指導に位置付けられた合わせた指導の一つです。

【朝の会の工夫 その1】

「健康観察で自分の健康状態を表現する力を育てる。」

ねらい：体調を表す言葉があることを知り、自分の状態に応じた表現をしてみよう。

「〇〇さん、元気ですか」と尋ねられた後、その日の気分や体調を表現するカードを用いて表現します。『頭が痛い・お腹が痛い・眠い』などのカードを使い、「今日は少し咳が出ます」と話したり、黒板に貼ったりします。



【朝の会の工夫 その2】

「天気調べて身の回りの自然の様子を表現する力を育てる。」

ねらい：生活の中で気温や天気の変化に気が付き、その日の天気に応じた過ごし方を提案してみよう。

「今日の天気は〇〇です。」の後、「気温が高いので汗を拭きましょう。」「今日は午後から寒くなります。暖かくして過ごしましょう。」と、その日の過ごし方を紹介します。



【朝の会の工夫 その3】

「一人一人が話す場面を設けることによって話す力を育てる。」

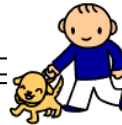
ねらい：前に立ち話すことで、相手を意識して話そう。質問に答えよう。

日直になった子どもが、朝の会で「昨日の出来事」などを、スピーチします。クラスの仲間は質問を考え、日直の子どもは質問に応えます。



コミュニケーションの力や人と関わる力、そして社会に出るために必要になってくる交渉力。
最近では、交渉型のコミュニケーションということが言われるようになりました。

提案・交渉型アプローチとは



子どもの気持ちに寄り添いながら、問題解決に向けたいくつかの方法を「提案」し、子どもと「交渉」する中で子どもが自主的・主体的に「選択」できるように指導・支援する方法です。自己選択・決定するのは子どもで、その時の主体は子どもにあります。大切なことは、子どもの心の中であって、上手く言語化できない本当の気持ちを引き出すことです。環境の中で、自分を支えてくれる教師と「関係性」を高め、互いに「信頼」しあいながら、「選択・決定」していくことで子どもの内面を育てます。

参考文献：『学級・学校支援ガイドブックー提案・交渉型アプローチを基本としてー』

(和歌山大学教育学部 特別支援教育学教室 武田研究室発行)

「合わせた指導」の授業づくりで大切なことは、

「児童・生徒一人一人の「今できること」に目を向け、「子ども主体」の活動づくり」

- 「できる」 状況をつくることで成功体験が豊富になります。
- 「できた」という満足感や達成感を味わうことで自信がつけます。
- 「自信と喜び」は活動に取り組む意欲や姿勢を育てます。

*生活に必要な知識や技能とは、子どもにとって価値のある体験の一つ一つ。日常生活の自然な流れに沿い、その活動を実際的で必然性のある物にしていく工夫が大切です。一人一人の子どもの生活の充実に向けて、日常に目を向けた関わりを意識してみませんか。

文責：二階堂 悟

秋田きらり支援学校に相談・見学等の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 石川 純子 地域支援部 佐藤 忠浩

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

